

LDAPのサポート

統合プロフィールのLDAPタイプを構成するには、次の役職が必要です。

- 統括システム管理者

Alma Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サポートは、Alma固有のユーザー名マッピングを提供しながら、他のEx Libris LDAPサポート製品と同様の特性を共有しています。

Alma LDAPサポートの詳細な概要については、https://developers.exlibrisgroup.com/alma/integrations/user-management/authentication/inst_idp/ldapを参照してください

Note

Ex Librisは、本番サーバーとサンドボックスの両方に同じLDAPプロフィールを使用することをお勧めします。この場合、更新後にサンドボックスでLDAPを追加設定する必要はありません。詳細については、[サンドボックスの更新のためのアカウントの推奨設定](#)を参照してください。

LDAPタイプの統合プロフィールを構成するには：

1. 統合プロフィールリストページ（〔設定〕 > 〔一般〕 > 〔外部システム〕 > 〔統合プロフィール〕）で、〔統合プロフィールを追加〕を選択します。統合プロフィールウィザードの最初のページが開きます。
2. このページで次のアクションを実行します。
 1. 定義するLDAPプロフィールの名前とコードを入力します。
 2. 統合タイプドロップダウンリストから、**LDAP**を選択します。
 3. 統合するLDAPシステムのタイプを示します（Ex Librisの情報目的で）。これは必須です。
 1. システムのリストから[その他]を選択すると、[システムの説明]フィールドが開き、さらなる詳細が表示されます。
 4. 任意で、設定しようとしている統合の説明を入力します。

Code *	<input type="text"/>	Name *	<input type="text"/>
Integration Type *	LDAP	System (for Ex Libris informational purposes) *	Other
System Description	<input type="text"/>		
Description	<input type="text"/>		

LDAPプロフィール-ページ1

3. 次へを選択します。ウィザードの2ページ目が開きます。
4. アクションを選択し、LDAPがアクティブで使用可能であることを示します。
5. **LDAP**定義の下で、次の表で説明するように、LDAPサーバーとのやり取りのために、自分の機関に固有のLDAP認証設定パラメーターを入力します。

Note

最大5つのLDAP定義を定義できます。

LDAP統合プロフィール設定パラメータ

フィールド	説明
ホスト	LDAPにアクセスできるリモートLDAPサーバーのホスト名を入力します。
ポート	リモートLDAPサーバーのポートを入力します。
安全な接続を使用	SSLプロトコルを使用してLDAPサーバーと通信するには、このチェックボックスをオンにします。 Note これは、サポートされている唯一のオプションです。
TLSを使用	暗号化された接続を提供するTransport Layer Security (TLS) 1.2を使用するように既存の接続を 変換 するには、チェックボックスをオンにします。 Note これには、LDAPバージョン3以降が必要です。
接続タイムアウト	タイムアウト値の設定をミリ秒単位で指定します。 接続タイムアウトのデフォルト値は、60000 = 1分です。
初期バインドDN	初期バインドの完全なDN（識別名）を入力します。
初期バインドパスワード	初期バインドのDNパスワードを入力します。
各検索前のバインド用DN	初期バインドにハードコードされたパスワードの代わりに動的パスワードバインドを使用する場合は、このパラメータを使用してDNを指定します。
パスワードをUTFから文字セットに変換	このフィールドは空欄のままにします。
応答エンコーディング	応答エンコードが必要な場合はUTF8を入力します。 この設定は、呼び出し元のアプリケーションに返信する前にLDAP応答をエンコードするために使用されます。 可能な値はUTF8のみです。
検索ベース1（検索ベース5を使用）	LDAPディレクトリツリーでユーザーへのフルパス検索を入力します。このシステムは 検索ベース および 検索フィルター に基づいてLDAPツリーを検索し、ユーザーの記録を見つけます。 Note 検索ベース および 検索フィルター パラメータを繰り返して、複数のツリーを検索できます。 検索ベース/検索フィルター の結果が一意でない場合（またはサイズがゼロの結果）、次の 検索ベース/検索フィルター に対して 検索ステップ が繰り返されます。

フィールド	説明
検索フィルター 1 (検索フィルター5を使用)	1つのオブジェクトのみを返すように結果をフィルターするパラメータを入力します。 このシステムは 検索ベース および 検索フィルター に基づいてLDAPツリーを検索し、ユーザーの記録を見つけます。(上記の注を参照してください。)
プライマリ識別子のマッピング	<p>CNなど、LDAP属性の名前を入力します。この属性はAlmaによってマップされ、ユーザ識別子として機能します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>Almaアルマのユーザー名は、CNなど、LDAP識別子のいずれかと一致しなければなりません。そうでない場合、認証は成功しますが、ユーザーには許可/役職が割り当てられません。</p> <hr/>

6. 保存を選択します。設定したプロファイルが、統合プロファイルリストに表示されます。